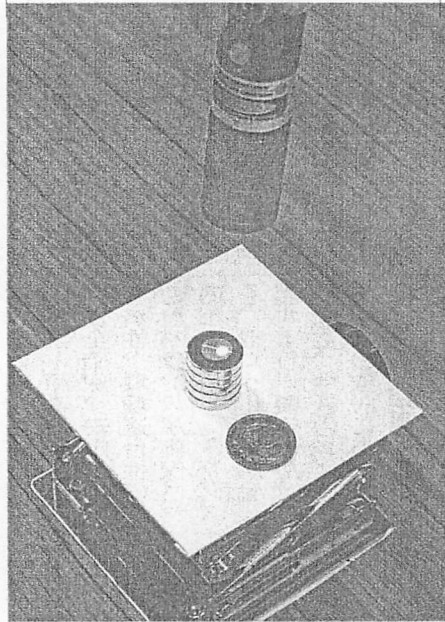


世界初となる光による運動制御技術 (写真は光を当てることによってグラファイトが回転している様子)



青山学院大学の阿部二朗教授らの研究グループは19日、磁石の上に浮上したグラファイトには摩擦が働かないため、わずかな力で効率的に運動させることが可能なため、鉛筆などにも使われて

開発に世界で初めて成功したと発表した。浮上しただけで発電する低コスト太陽光発電や光輸送装置などの実現に大きな期待が寄せられている。

これまでとは全く異なる原理で発電する低コスト太陽光発電や光輸送装置などの実現に大きな期待が寄せられている。

## 低コストの 太陽光に道

青山学院大が新技術  
光で運動制御

いるグラファイトは磁石が発した。安価で市販され、すことに成功。今後、円に反発する性質を持っていて、ネオジム磁石程度の大型化や電力板サイズの大型化や電力により、その反発力は温度の磁力で浮上するため、を効率的に取り出す発電装置によって変化することが、低コストの光駆動装置製造に繋がるといえる。

知られていた。阿部教授は、作に繋がるといえる。

らは磁石上に浮上させた。研究では、円板上のグラファイトを太陽光照射によって1分間に200回以上の速度で回転させることで反発力をコントロールできることを発見。照射部位とそれ以外の部分の浮上距離に差異が生じることを推進力として、グラファイトをなめらかに動かす技術を開

グラファイトを太陽光照射によって1分間に200回以上の速度で回転させることにより、回転速度を上げることができることを確認。磁場中に置かれた回転する電導体の周辺部と回転軸の間で電流が発生する原理を活用し、未来への夢が広がることは間違いない」と話している。